

ごみステーションの カラス対策ガイドブック



平成25年3月

伊丹市家庭ごみステーションカラス等対策研究会

刊行に寄せて

『カラスがごみステーションを餌場にし、ごみを食い荒らして散乱させる事例が起こっている。何とかならないものかー。』このような声が、市内各所の地域懇談会などで聞かれるようになりました。

伊丹市では、平成20年度にカラス対策として、黄色の防鳥ネットをごみステーションに配布し、カラス対策を行ってまいりました。当初は非常に効果があり、好評であったこの方法も、近年のアンケート結果によると、カラスの適応能力におされ、年々その効果が薄れてきている状況にあります。

『これまでのカラス対策を検証しながら、さらに新たな対策が打てないものかー。』このような観点から今年度、「伊丹市家庭ごみステーションカラス等対策研究会」を発足し、市民と行政が協働し、知恵を出し合ってカラス被害を防止する方策を研究することといたしました。今回、研究会での貴重な意見・提案を一つにまとめ、「ごみステーションのカラス対策ガイドブック」の刊行に至りましたことを大変嬉しく思います。

市としても、このガイドブックを各地域で積極的に活用していただきながら、今後も市民の皆様と手を携えてカラス対策を実施し、ごみの散乱のない、清潔で快適な生活環境づくりを推進してまいりますので、皆様方のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、ガイドブックの発行にご尽力いただきました伊丹市家庭ごみステーションカラス等対策研究会の皆様をはじめ、関係者の皆様方に厚くお礼申し上げます。

平成25年3月

伊丹市長 藤原保幸

はじめに

「伊丹市家庭ごみステーションカラス等対策研究会」は、市民と行政が知恵を出し合っ
てカラス被害を防止する方策を研究するために、市民の代表と市行政関係部局の方々を
メンバーとして、平成24年7月18日に発足しました。

当研究会では、市民に呼びかけて、市内4箇所で「意見交換・学習会」を開催しまし
た。兵庫県立人と自然の博物館研究員の布野隆之先生をコーディネーターとしてお迎え
し、それぞれの地域で、現在具体的にどのようなカラス対策に取り組んでいるのかをお
伺いするとともに、カラスの習性や有効なカラス対策のあり方について学びながら、意
見交換を行いました。

この意見交換・学習会で出された提案や意見をもとに、カラス対策に有効と思われる
数々のグッズを試作し、市内22自治会52箇所のごみステーションにおいてモデル事業
として実施していただき、アンケート調査によりその効果を検証してきました。

このガイドブックは、これらの取り組みを踏まえて、カラスの生態を紹介するととも
に、カラス対策の落とし穴や、真に有効なカラス対策はどのようなものかなど、ごみス
テーションの立地条件やごみ量などに応じてきめ細かく提案しようとするものです。

地域でカラス対策に取り組む際の参考にしていただき、ごみの散乱のない、美しいま
ちづくりの一助になれば幸いです。

最後になりましたが、意見交換・学習会にご参加いただき、活発な意見交換をしてい
ただいた皆様、また、モデル事業に快くご参加いただき、アンケート調査にご協力をい
ただいた皆様に、心からお礼を申し上げます。

平成25年3月

伊丹市家庭ごみステーションカラス等対策研究会

会長 長 澤 孝

目 次

刊行に寄せて

はじめに

なぜ、カラスの「ごみ被害」は起きるのか？ 2

コラム カラスのごみ被害は、必ず解決できます！ 3

ごみ出しマナーを守ろう 4

今のカラス対策ネットにひと工夫 カラスを寄せつけない技 . . . 5

ごみステーションの状態に応じた対策を 8

ごみを減らそう 11

カラス対策のQ & A 14

付録 15

伊丹市家庭ごみステーションカラス等対策研究会名簿 16

カラス等対策に係る取り組み経過 17

意見交換・学習会の概要 18

対策モデル事業の概要 19